

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2023 年 6 月 11 日（日）13 時 00 分～14 時 50 分

場 所：日本天文学会 事務所（東京都三鷹市大沢 2-21-1）

（学会事務所よりオンライン会議システムを用いて開催。）

出席代議員：須藤靖、本間希樹、奥村幸子、大須賀健、太田耕司、浅井歩、大向一行、秋山正幸、大朝由美子、津村耕司、吉田直紀、藤沢健太、江草芙実、福江純、赤堀卓也、柏川伸成、細川隆史、今井裕、山崎了、野村英子、山崎典子、谷口大輔、河野孝太郎、土居守、小林千晶、井岡邦仁、林左絵子、石川遼子、藤井友香、百瀬宗武、高橋慶太郎、富田賢吾、富永望、長尾透、当真賢二、横山央明、川端弘治、稲見華恵

（以上 37 名（うち津村、高橋の 2 名は遅刻しての出席、奥村は途中退席）、委任状 5 名）

欠席代議員：相川祐里、米徳大輔、田中雅臣、犬塚修一郎、井上剛志（以上 5 名、委任状あり）
生田ちさと（委任状無）

出席理事：山本智会長、太田耕司副会長、久保田あや副会長、町田真美庶務理事、鈴木建庶務理事、酒向重行会計理事、鹿野良平会計理事（太田副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：奥村幸子、花岡庸一郎（奥村監事は代議員を兼任している。）

また、その他に佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

- I-1. 議事に先立ち、代議員総数 43 名のうち、出席代議員が 35 名、委任状 5 通で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：山本 智

署名人：山本 智

また、オンライン会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認した。

- I-2. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回代議員総会（2023 年 3 月 14 日）の議事録が確認された。

II. 報告

- II-1. 日本天文学会 2022 年度監査報告（資料 3、花岡）

2023 年 5 月 12 日に開催された監査の報告がされた。2022 年度の事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。

III. 議題

- III-1. 日本天文学会 2022 年度事業報告書の承認（資料 4、町田）

2022 年度の事業報告が説明され、賛成多数で承認された。

II-2. 日本天文学会 2022 年度決算書の承認（資料 5、酒向）

2022 年度の決算書が説明された。今年度黒字になっている出版事業「シリーズ現代の天文学」の、これまでの財政状況と経緯を代議員間で今後も共有していくべきであることが、確認された。提案は賛成多数で承認された。

II-3. 次期推薦委員会の委員長・委員について（資料 6、町田）

理事会での承認にもとづき、次期推薦委員 6 名（委員長 1 名。また 6 名中 2 名が継続）が提案された。資料中 1 名の所属団体の記入漏れが指摘された。提案は賛成多数で承認された。

II-4. 次期選挙管理委員会の委員長・委員について（資料 7、町田）

理事会での承認にもとづき、次期選挙管理委員会の候補者（委員長 1 名、副委員長 1 名、及び委員 3 名）が提示され、賛成多数で承認された。

II-5. 次期理事及び監事について

次期より、広報担当理事は副会長が兼任することが説明された。代議員からは、地域やジェンターバランスに関する質問が出され、2 名の副会長はジェンダーを考慮することが申し合わせられていることが報告された。今後はそれぞれに配慮した理事の選任が望ましいことが確認された。各候補者について個々に投票を行った結果、賛成多数により候補者全員を選任することが承認された。選任された理事及び監事は以下の通りである。

理事	井田 茂	理事	廿日出文洋
理事	野村〔有川〕英子	理事	大朝由美子
理事	百瀬宗武	理事	石川〔音野〕遼子
理事	勝川行雄	理事	山村一誠
理事	町田〔中村〕真美	理事	金田英宏
理事	鈴木〔安井〕竜二	理事	吉田直紀
理事	酒向重行	理事	楠瀬正昭
理事	安東正樹	理事	野澤 恵
理事	津村耕司		
監事	松尾 宏	監事	山田 亨

注：〔 〕内は戸籍上の姓。

II-6. 名誉会員について（資料 9、山本）

3 名の推薦者からの推薦にもとづき、定款第 8 条に照らして小平桂一を名誉会員へ推薦することが理事会から提案された。賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 第 8 期代議数について（資料 10、町田）

第 8 期代議員数を 24 名とすることが理事会で承認された。また、第 7 期選挙と同じく今回も電子投票を導入する。投票用紙を用いる場合は、二重投票対策のため事前申し込み制とする予定である。

III-2. 2022 年度早川基金報告（資料 11、町田）

2022 年度の早川基金は 37 名の申請者に対して 18 名採択（うち 1 名辞退）されたことが報告された。

III-3. 年会アンケートについて（資料 12、太田）

2023 年春季年会のハイブリッド方式での開催については、おおむね好評であることが説明された。今後の開催方式としても、毎回ハイブリッド方式での開催の希望が多数であり、オンラインからの参加の具体的方法については開催地の状況に従うという意見が最も多かったことが報告された。

III-4. 理事会（2023 年 5 月 21 日）報告（資料なし、町田）

5 月 21 日開催された理事会について報告された。本代議員総会で扱った事項以外には、天文教育委員会の委員の追加、「シリーズ現代の天文学」の各巻の Springer 社と学会の契約による英語版出版に関する事項が承認されたこと、PASJ の購読料の値上げ、APRIM への PASJ ブースの出展について報告されたこと、ジュニアセッション参加者への準会員制度の重要性が指摘されたことが報告された。また会長より、これまで長年 Tennet に多大なる貢献をされた鈴木知治氏に感謝状を贈呈したことが報告された。代議員より「シリーズ現代の天文学」英語版出版に関してこれまでの経緯の説明を求められ、次回以降の代議員総会で報告する事が確認された。

III-5. ロードマップ 2023 に対するサポートレターについて（資料なし、山本）

長期大規模計画に関して文科省の学術審議会で審査することになり、各学会からのサポートレター(6/30 〆切)が必要となった。これまで日本天文学会には 2 件サポートレターの依頼がきており、6 月中にポジティブに対応する予定であることが説明された。サポートレターの発出は次期理事会に判断に基づくが、基本的にはポジティブに対応するのが原則となる。サポートレターを発出した団体を理事会と代議員総会で報告することが確認された。

III-6. 学術会議・IAU 分科会報告（資料 13、山崎典子）

4/17-18 学術会議総会が開催され、法律改訂案に関する内閣府と議論と経緯が報告された。その他、(i) 未来の学術振興構想の策定状況、(ii) 天文学宇宙物理分科会で長期計画(2030-2040 年代)が査読中であること、(iii) 次期会員・連携会員選考のリストを作成中であること、(iv) IAU APRIM 2023 郡山 8/7-11 の準備が進められていることが報告された。

III-7. 今後の年会開催地と開催地理事について（資料なし、町田）

2025 年秋年会は茨城大学(開催地理事:野澤恵氏)で開催されることが、報告された。

III-8. 日本天文学会が後援する事業や会議などについて（資料なし、町田）

後援・協賛・共催を希望する団体は、学会事務所を通すことの徹底をお願いしたい。

III-9. 寄付者に関して（資料なし）

代議員より、日本天文学会の若手助成事業に対して、継続的に多額の寄付をされる寄付者に関して情報共有がなされた。会長より、これまで感謝状の贈呈なども検討しているものの、諸事情により保留となっていることが説明された。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録案

資料 3 監査報告書

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2022 年度事業報告書

資料 5 公益社団法人日本天文学会 2022 年度決算報告書

資料 6 次期推薦委員会の委員候補者について

資料 7 次期選挙管理委員会の委員の選任について

資料 8 次期理事および監事候補者一覧

資料 9 日本天文学会名誉会員の推薦

資料 10 第 8 期日本天文学会代議員選挙について

資料 11 2022 年度 早川幸男基金採択者(第 117 回～第 120 回)

資料 12 春季年会（立教大学）に関するアンケート結果

資料 13 日本学術会議物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会/IAU 分科会 報告

2023 年 6 月 11 日

議長・署名人： 山本 智 印